

# 学校だより



平成30年度 第40号

下野市立南河内中学校  
発行者 日下田 英彦  
H30.12.1

## 12月の俳句 人並みに師走の路を急ぎけり

駒田 暉風

12月に入り、今年も残すところ1ヶ月となりました。12月に生徒が授業で登校する日は16日です。3年生にとっては、私立高校の受験の準備など、計画的に進めることが大切になります。時間を有効に使えるようにしたいものです。そして、11月は各学年ごとにいろいろな会や講座がありました。直接の教科の勉強ではありませんが、これからの将来、生きていく上で必要になることも多くあります。今後の生き方に役立ててもらえればと思います。

また、授業参観、保護者会ではお世話になりました。お子さんの学校での様子を実際に見ていただくこと、学校の取り組みを知っていただくことで、家庭と学校で協力してお子さんを成長させることにつながります。そして、年が明けると、卒業、進級を迎える大切な時になります。今後も、本校の教育にご理解、ご支援をいただけるますよう、よろしくお願いいたします。

### 1 学校保健・給食委員会

11月29日(木)5校時に学校保健・給食委員会が行われました。学校保健・給食委員会は学校における保健や給食に関する問題を、生徒会の保健委員会・給食委員会の代表の生徒とPTAの代表の方や校医・学校薬剤師の先生、そして学校栄養士とともに考え、解決の一助にするものです。今年、本校の課題のひとつである、よい姿勢を保つためにはどうしたらよいかを話し合いました。生徒の司会・発表により多くの意見が出て、校医の先生方からは自主的な活動にお褒めの言葉をいただきました。

### 2 租税教室

11月20日(火)3年生は講師に税理士の飯野洋先生をお招きして租税教室を行いました。税金の仕組みや日本の財政の状態から、増税する場合は、所得税がいいのか、消費税がいいのかなど、具体的な話題を交えてわかりやすくお話ししていただきました。現在の社会は、行政や福祉も、そして学校教育も税金をもとに成り立っています。3年生は社会科の公民の授業で税の学習をしていますが、税理士さんから直接お話しを聞くことで税への理解が深まったと思います。



学校保健・給食委員会での発表・話し合い



租税教室の様子

### 3 薬物乱用防止教室

1月30日(金)、6校時に、劇団三十六計のみなさんによる、薬物乱用防止教室が行われました。危険ドラッグや覚醒剤などの薬物の害については、いろいろなところで学ぶ機会がありますが、劇団の方による迫真の演技により、薬物のこわさ、恐ろしさが伝わりました。ちょっとしたきっかけや先輩からの誘いで、薬物に手を染めるケースもあるそうですが、劇により正しい知識を知ることによって予防効果も高くなると思います。ぜひ、ご家庭でもお子さんに感想を聞き、話し合うきっかけにできればと思います。

生徒の感想は次号で紹介します。



薬物乱用防止教室の様子



放課後の学習室解放の様子

### 5 ちょっと早いですが 来年の干支「亥」は？

来年の干支は「己亥(つちのとい)」です。干支は「十干」と、「十二支」の組み合わせで60通りの組み合わせができます。十二支は知られていますが、十干から調べてみるとおもしろいことがわかります。「己」は、今年の「戊」に文化繁栄の意味があり、続く「己」は繁栄したものを統制する意味があると言われます。十二支ももともとは動物ではなく、植物の生長を表しますので、「亥」は、動物の猪ではなく、植物の生長の最後の段階の「生命が種子のなかに閉じ込められている状態」です。

このことから、「己亥」の年は、今の現状を維持し、守りの姿勢に徹した方がよいと言われています。こういう由来から、亥年は「次のステージに向けた準備期間」と考えてはどうでしょうか。また亥年は、猪の肉が万病予防にして食されてきたことから、亥年は無病息災の年とも言われます。健康の意識を高められるといいですね。

